

政策コメンテーター報告(第5回)(意見照会期間:2015年10月22日~11月4日):丸谷 智保 株式会社セイコーマート代表取締役社長

質問事項	選択式回答	記述式回答
経済動向		
<p>1</p> <p>2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示しているのをご参照ください。</p>		<p>当社のPOSデータでは、40代以下の壮年、若年層の消費は引き続き堅調であり、これまで弱含みで推移していた高齢者層も回復してきている。 但し、円安による輸入原材料の高止まりの影響や生鮮品の値上がりで、食品価格の上昇が続いている。即ち、一見売上が上昇しているかのように見えるが、実は値上げによるノミナルなものとも言える。 当社が扱う生活関連商品の内、この3か月で値上がりしたものは28品もある。 前年比売上は上昇したが、販売数量が減少したカテゴリー(つまり値上げによる影響)は11カテゴリーあった。 今後もこの傾向が続けば個人消費に大きな影を落とすことが懸念される。</p>
「経済・財政一体改革」に向けた取組		
<p>2</p> <p>改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。</p>		<p>医療費、介護費、薬剤費について様々な角度から検討を加え、コスト半減に向けて改革工程やKPIを明確に示そうとする取り組みは評価できる。 しかし、「医療費の適正化」と言うと、ともすれば受診する患者側への働きかけが多い。即ち、予防の呼びかけや頻回受診・服薬量の削減などを求めているが、そもそも医療費のコスト、原価計算は正しいのであろうか？ 医師や看護師の件費の基準は何か？地域間格差はどの程度か？ 診療報酬や薬価の算定基礎となる「医療コストの原価」を求め、そこにコスト削減の余地や医療行為の効率化を模索するヒントが数多く隠されているのではないか？ 効率化を例に取れば、ポータルな医療データを患者個人が持ち歩く事が出来れば、受診の度に繰り返される同じような検査は避けることが出来、全体の医療費は削減できる。 KPI指標化の中に、医療費原価や医療行為の効率化指標を盛り込んでどうか。</p>